

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

早期水揚げが可能な養殖銀鮭の生産と流通形態の構築及び加工品開発による千葉県産銀鮭ブランド化事業

黒潮の影響を受ける地域での銀鮭養殖は初めての試みであるが、温暖な環境でも生産可能な体制を確立・開発し、新たな地域ブランド品として販路開拓し、千葉県産としては初めての養殖銀鮭の知名度向上と地域活性化を目指す。

➤ 連携体

農林漁業者 鋸南町勝山JF(農林水産業協同組合)

養殖銀鮭の設備(生簀)及び長年の養殖ノウハウの提供による早期水揚げが可能な養殖銀鮭の生産。

中小企業者 (株)西川 (水産食料品製造業)

長年培った銀鮭養殖技術を提供し、千葉県では初めて生産される養殖銀鮭の加工品開発を行い、千葉県や首都圏等での販路開拓を行う。

連携参加者 (株)ユタカ水産(水産食料品製造業)

一次加工での生産支援を行う。

サポート機関等 千葉県水産総合研究センター、千葉県中小企業団体中央会、勝浦市商工会、鋸南町商工会 (独)中小企業基盤整備機構関東本部

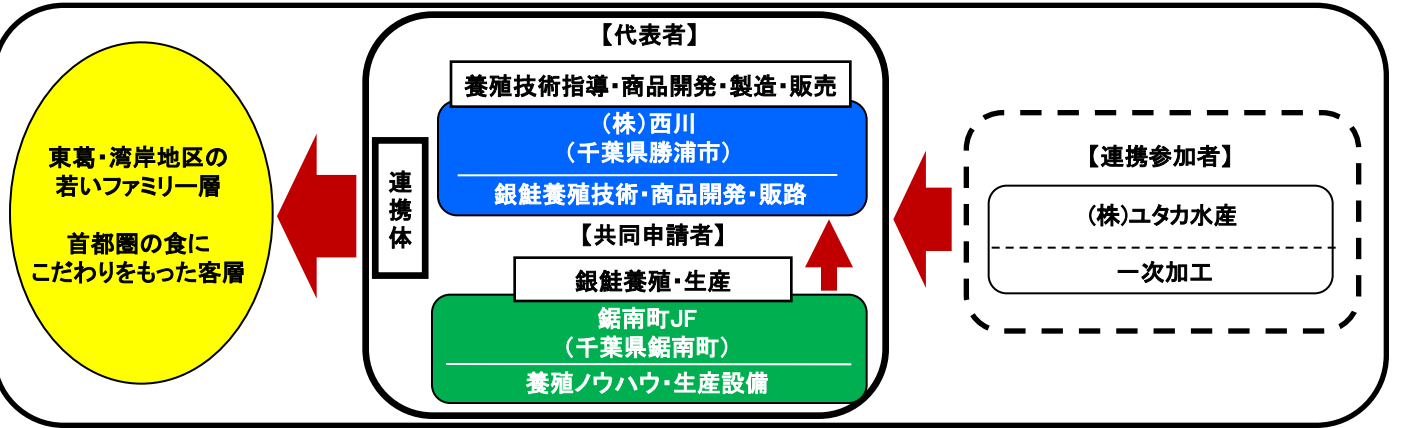
➤ 連携の経緯

(株)西川は、長年に亘ってチリ銀鮭の輸入に携わってきたが、近年中国等新興国の消費量が急速に拡大し、輸入銀鮭の価格が高騰傾向にあり、今後輸入量の減少が予測されること、震災の影響で国内産養殖銀鮭の生産量が半減していることから、国内産の銀鮭の安定的な供給量を確保する必要があった。一方鋸南町勝山JFは、現在養殖を行っている養殖物(ハマチ等)のニーズが減少していることから、市場ニーズが高く、需要も高い銀鮭はタイムリーな商品であった。



➤ 連携に当たっての課題や工夫等

(株)西川と鋸南町JFは、(株)西川が長年培ってきた養殖銀鮭の技術を提供、鋸南町勝山JFは長年の養殖の経験と設備を提供することで養殖銀鮭の研究・開発・生産を協同して行う。(株)西川は、商品企画力等を活かし、サポート機関等の協力を得て、新たな商品開発を行い、千葉県産銀鮭のブランド化を進める。



➤ 連携による効果

農林漁業者 4年で8,800万円の売上高増加、養殖銀鮭生産量の拡大

千葉県産初の養殖銀鮭の生産体制の確立と知名度向上による生産量の拡大。収益の拡大が期待される。

中小企業者 5年で2億6,000万円の売上高増加、千葉県産養殖銀鮭地域ブランド事業の確立

千葉県産の初の銀鮭を使った調理加工品の開発販売を行うことで、新たな事業として確立させる。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社西川	所在地 : 千葉県勝浦市浜勝浦74
T E L : 0470-70-1511	F A X : 0470-70-1513
E - m a i l : m.suzuki@kk-nishikawa.com	ホームページ : http://www.kk-nishikawa.com